

プレス発表資料14

令和元年7月3日

「気候変動に対する適応を考えるシンポジウム - 気候変動と阿武隈川流域圏の将来像 - 」開催のお知らせ

今日、地球温暖化に伴う異常気象などの影響が危惧され、温室効果ガス軽減だけでなく、温暖化に適応できる対策の取り組みが必要とされています。

そこで、本シンポジウムでは、 温暖化と災害の因果関係、 最新の災害リスクに対する研究成果の報告、 温暖化に適応できる強靭な社会基盤をつくるための必要事項について、各分野の研究者、実務者が講演し、適応策への意見交換会を実施します。当日の取材をよろしくお願いいたします。

「文部科学省 気候変動適応技術社会実装プログラム SI-CAT」では、気候変動に伴って増加する極端現象(豪雨や海面上昇)等への地域特性に応じた適応策の検討・策定を支援するため、信頼性の高い近未来の気候変動予測技術や気候変動影響に対する適応策の効果の評価を可能にするための技術開発を進めています。また、阿武隈川流域圏でも,気候変動に伴い増加しうる極端気象現象のリスクに適応できる生活基盤の強化を考えなければならない状況にあります。

そこで、今回、阿武隈川改修 100 周年事業として阿武隈川改修 100 周年事業 実行委員会、文部科学省 気候変動適応技術社会実装プログラム SI-CAT、(一社) 東北地域づくり協会、土木学会地球環境委員会の共催より、気候変動に対する 適応を考える公開シンポジウムを開催し、気候変動より予測される最新の災害 リスクや適応策の展望の紹介、パネルディスカッションを通じての意見交換を 企画しています。

この企画の中で、行政と研究機関が一体となり安全・安心な社会基盤構築に向けて気候変動に適応してする必要性について意見を交換し、社会実装可能な適応策の実現に向けての取り組みをはかります。

(お問い合わせ先)

共生システム理工学類教授 川越 清樹

(文部科学省 気候変動適応技術社会実装プログラム SI-CAT 参画技術開発機関)

電話:024-548-5261 メールアト・レス:kawagoe@sss.fukushima-u.ac.jp

阿武隈川改修100周年事業

気候変動に対する適応



を考えるシンポジウム - 気候変動と阿武隈川流域圏の将来像-

文部科学省 気候変動適応技術社会実装プログラム SI-CATでは、気候変動に伴って増加する現象(豪雨や海 面上昇)等への地域特性に応じた適応策の検討・策定を支援するため、信頼性の高い近未来の気候変動予測技 術や気候変動影響に対する適応策の効果の評価を可能にする技術開発を進めています。

直轄改修100周年を迎える阿武隈川流域圏でも、気候変動に伴い増加しうる現象のリスクにも適応できる対策の 強化を考えなければならない状況にあります.

今回, **気候変動に対する適応を考えるシンポジウム**では, 気候変動の現状, 気候変動より予測されるリスクの最 新の研究やリスク対応の現状、適応策の展望を紹介するとともに、行政、研究および流域圏に関係する諸機関が 一体となった気候変動に対する適応についての意見交換を行います.シンポジウムを通じて,<u>社会実装可能な適</u> 応策の実現に向けた将来像の設計へ資することのできる提案を目指します.





荒川の破堤の様子(日之倉橋上流右岸)



平成23年9月洪水の被害状況



2019年7月24日(水) 13:30~16:45(13:00開場)

こむこむ館 わいわいホール 福島県福島市早稲町1-1

※本シンポジウムは、土木学会CPDプログラム認定を受けています 無料(会場:300名限定) >(JSCE19-0682 単位数:3.3単位)





第1部 基調講演 (司会: 古賀博久 [福島河川国道事務所])

「気候変動適応法とその取組について」:岡 和孝 [国立環境研究所気候変動適応センター 主任研究員]

「福島県における地球温暖化と気象災害への備え」:土井邦裕[福島放送 気象予報士・防災士] 「気候変動下の水災害とその適応」:風間 聡 [東北大学大学院工学研究科 教授]

第2部 パネルディスカッション (司会:川越清樹[福島大学共生システム理工学類]) 栗原太郎 話題提供「気候変動を踏まえた治水事業のあり方」:栗原 太郎[東北地方整備局河川部河川計画課長] パネルディスカッションテーマ:気候変動に対してどのように適応していくか?

コーディネーター:小浪 尊宏 [福島河川国道事務所長]

パネリスト: 基調講演者

> 中舘 明 [福島地方気象台長] 菅原加代子[福島県環境部環境共生課長] 広幸[福島市 危機管理室次長] 義弘[郡山市生活環境部長]

尊宏 小浪 中舘



明



菅原加代子



紺野広幸



共催: 文部科学省 気候変動適応技術社会実装プログラム SI-CAT

阿武隈川改修100周年事業実行委員会

(一社) 東北地域づくり協会 土木学会地球環境委員会

後援: 阿武隈川サミット実行委員会

福島大学共生システム理工学類 東北大学大学院工学研究科









問い合わせ先: 福島大学共生システム理工学類 川越清樹 E-mail: kawagoe@sss.fukushima-u.ac.jp

TEL: 024-548-5261